

3学期の3大検定試験で、すべての合格を果たそう

— 3大検定は成績向上と希望校合格に直結 —

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：「3大検定」とは何ですか。

A：「英語検定」「漢字検定」「算数・数学検定」の3つの大切な検定のことです。開倫塾では3大検定の受験と合格をすべての塾生の皆様に奨励しています。

Q：それはなぜですか。

A：3大検定合格のために勉強すると大幅な学力アップとなり、学校成績向上と希望校合格に直結するからです。

Q：3学期には、3大検定の何級を受験すればよいのですか。

A：(1)3大検定には、学年ごとに「学年相応級」が明示されています。現在の学年が終わる3学期中に学年相応級を受験し、合格することを目指してください。

(2)既に学年相応級に合格している検定があれば、立派です。3学期には次の級に挑戦してください。

Q：不得意な教科はどうしたらよいのですか。

A：(1)決して無理をせず、3学期には、現在の実力に対応した級を十分に準備して受験する。合格を果たしたら、来年1学期に次の級に挑戦することをお勧めします。

(2)例えば、英語が不得意なら、中3生、高3生でも迷うことなく5級からスタートしてください。漢字が不得意なら、10級からスタートしてください。

(3)よくわからないところまで^{さかのぼ}り学ぶことを、「^{そきゅう}遡及学習」といいます。3大検定でも遡及学習をお勧めします。

Q：得意な教科はどうしたらよいのですか。

A：(1)学年相応級以上の級に挑戦しよう。勉強に遠慮は不要です。上の級をどんどん取得すること。

(2)よくできる教科は、中学校卒業までに3大検定の準2級合格を果たすこと。高校卒業までに2級合格を果たすこと。

(3)超難関大学に合格したければ、高1・2生で3大検定の2級合格を果たし、高3生で準1級に挑戦することです。遠慮は一切いりません。

Q：受験学年の塾生も、3学期に3大検定に挑戦した方がよいのですか。

A：(1)もちろんです。私立中学校や公立中高一貫校を受験する現小6生、高校入試を受験する現中3生、大学入試を受験する現高3生で、3大検定の学年相応級に合格を果たしていない塾生の皆様は、受験勉強だと考えて3学期の3大検定に申し込み、すべてで合格を果たしてください。

さい。

(2)中 3 生は 3 大検定の 3 級合格を果たしてから高校進学を、高 3 生は 2 級合格を果たしてから大学進学をしてください。

(3)3 学期の 3 大検定は受験勉強そのものですので、受験生こそ 3 大検定が必要です。学年相応級に合格していない 3 大検定は、入試が終わったあとでも受験して合格を果たすことが、上級学校での勉強に役立ちます。また、自信にもつながります。

Q：どのように勉強したらよいのですか。

A：(1)英検検定は、過去問集を徹底的に分析すること。分析が済んだら、問題本文、設問、選択肢、解答・解説の音読練習と書き取り練習を繰り返し行い、スミからスミまで覚えることに尽きます。リスニング CD は毎日聴く。2 次試験の面接カードと模範解答も、音読練習と書き取り練習を行ってすべて覚える。

(2)漢検検定は、「ステップ問題集」を肌身離さずいつも持ち歩き、音読練習と書き取り練習を繰り返し行ってすべて覚える。

(3)算数・数学検定は、まずは学校や開倫塾のテキストをしっかりと学習する。次は過去問を分析し、同じ計算や問題を 5 ～ 6 回やり直す。計算や問題を見た瞬間に正解が出るものを一つでも多く増やすことです。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)勉強の中で最も「努力が報われる」のが、「3 大検定」です。

(2)合格に向けて「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心に)取り組めば必ず合格するのが、3 大検定です。

(3)「定着のための 3 大練習」である「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」をはじめ、開倫塾の「学習の 3 段階理論」を用いて学習すれば抜群の抜群の効果が出るのも、3 大検定です。

(4)「学習の 3 段階理論」を用いて一定期間の学習をすれば、3 大検定に必ず合格します。

(5)3 大検定合格は、入試や就職試験に役立ちます。社会に出て仕事や生活する上でも役に立ちます。人生において大きな自信にもなります。

(6)高校や大学に進学した後も 3 大検定に挑戦し続け、充実した人生を目指しましょう。

2016 年 11 月 14 日(月)記

(宇都宮大学大学院工学研究所 客員教授)

